

総社市感染症専門家会議（第9回）における議論の骨子

【1】感染対策について

- ・ オミクロン株は多くが軽症だが、高齢者や基礎疾患がある人は重症化するリスクが高く、市民全体で感染対策を徹底する必要がある。
- ・ 必要な医療体制を維持するため、症状なく心配だけで医療機関を受診することは避け、発熱など症状がある場合には診療時間内に事前に電話相談の上で受診する必要がある。
- ・ 学校等で陽性者が発生した際、検査機関の余力なども踏まえた上で検査せず、学級閉鎖の対応で経過観察が必要である。

【2】小児（5～11歳）のワクチンについて

- ・ 子どもの接種を進めるより、まずは周りの大人の接種が優先される。
- ・ 重症化リスクがある基礎疾患のある子どもには接種を勧める。
- ・ それ以外の子どもは、接種するかどうかよく家庭内で相談し、納得した上で接種することが重要である。